

# 犬山市、扶桑町と懇談会を行ないました！

**犬山市との懇談会**は11月22日（火）の午前に行いました。

尾北民商が取り組んだアンケートで、コロナ前と比較して3割以上売上減が37%、物価高騰の影響を受けている業者が77%という状況を訴えた上で、金融支援や直接支援についてたずねると、犬山市は「事業の新展開や承継を支援する事業継続支援事業に一本化した」「これを発展させていきたい」との姿勢を示しました。

これに対し尾北民商からは、地域経済を支える小規模な業者が営業のやる気を持続できる環境を作ることも経済政策であることを主張しました。

政府が来年10月実施を予定するインボイス制度については、林犬山支部長から「この制度は、売上1000万円以下の免税業者に課税を迫るダブルスタンダード。登録する小規模な事業者は、仕事が取れなくなるから苦渋の選択をしていることを理解して欲しい」との訴えがありました。

また、他の参加者から「低所得者への特別給付金の判定で、青色控除分を所得に足すのはおかしい。青色申告は、業者が自分でやれば時間と手間、外部に頼めば経費がかかる。国の指針というが、国のお願いでやってきたことで不利になるのは納得がいかない」との意見がありました。

信用保証制度については、責任共有制度の対象以外の小口資金は市役所も窓口になっていることについて、確認と担当部署への周知を求めました。



犬山市との懇談会

**扶桑町との懇談会**は11月22日（火）の午後に行いました。

燃料・光熱の直接支援について、参加者からは「ありがたい。ただ、まだ広報に乗っていないし、どんな補助制度があるのかわかりにくい。特に高齢者には情報が届きにくい」との声や、電気料請求のペーパーレス化が進んだことで申請に必要な書類をそろえられない状況が発生することを伝え、申請と支払いの記録が一致すれば補助の対象になるとの回答を得ました。また滞納者でも約束して分納を行っている人は補助制度の対象になることを確認しました。

また、水道料金の補助が年明け以降に始まることであきらかになりました。

インボイス制度については、地域の業者と経済に重い負担を負わせることを重ねて伝えたいので、役場からの発注はインボイス未登録者でも排除



扶桑町との懇談会



しないことを確認しました。

また国保の国庫負担引き上げと、国保に傷病手当制度を創設することを国に要望するよう訴えました。

**尾北民商**  
ニュース

2022年  
12月5日号  
TEL 0587-54-0524  
FAX 0587-54-1390

## 尾北地域で頑張る業者さん！ 寺澤豊店さん



名鉄江南駅の直ぐそば、昭和2年からずっとこの場所で豊一筋！ 地域密着の豊店を目指しています！

今の豊は和紙をこよりの様によって一本の糸の様にして色を付け、撥水

加工などを施しているそうで、破れない・色あせない・小さな子がいても安全で衛生的。水やお茶をこ

ぼしてもすぐに拭けば大丈夫だそうです。豊のへりもたくさん種類があって見本を見せてくれました。

豊は使い方次第ですが、15年くらいで表替えをされると良いとか。修理をして何年でも使えるそうです。

豊のことは、お任せくださいと3代目店主の寺澤さん。頼もしいです。

